

こんにちは

うみ議会です

2024.11.15

No. 95

うみ議会だより
9月定例会

楽しく防災を学ぼう スポーツ少年団が 防災体験会

非常食のオニギリは
どんな味が
とっても楽しみ

P2 「学びの多様化学校」とは

P4 9月定例会

P9 一般質問 町政を問う6人が登壇

P16 委員会活動報告



20ページに表紙関連記事を記載

Koe Meter

声メーター

実施中!

議会広報が聞いたみなさんの声
2022.3から



びにアクセスできる新たな学校 多様化学校」ってどんな学校？

「宇美町立学びの多様化学校」が宇美町こども教育総合支援センターうみハピネスに原田小・宇美南中学校の分校として令和7年4月に開校される予定である。「学びの多様化学校」とは、不登校児童生徒の実態に配慮して特別の教育課程を編成して教育を実施する学校で、令和6年4月現在、全国で35校。県内では、全日制の小中学校ではじめての設立となる。そこで、今回は折居教育長のインタビューを行った。



宇美町こども教育総合支援センター(うみハピネス)

PURPOSE※

宇美町立学びの多様化学校ハピネス分校は
「行きたい学校」「会いたい仲間」
「参加したい学び」を創造します

学校経営の柱 ワンヘルス教育
心と体、生物と環境の一体的健全性

宇美町と宇美町議会は「ワンヘルス宣言」をしています

学校経営要綱より ※パーパス(存在意義)

折居教育長インタビュー



学びの多様化学校が目指す姿は

折居
教育長

児童生徒の主体性が一番大切。自ら課題を発見し、自分の責任のもとに解決する力を身に付けてほしい。

まず登校してもらい、学校で人間関係をつくる。最終的にはしなやかさと粘り強さを身に付けて、社会をたくましく生き抜いてほしい。

先生は児童生徒の伴走者としての支える人になる、これがこの学校の大人の役目。



児童生徒に対する支援の考え方は

折居
教育長

先生は児童生徒が自立できるように支える。それには「支援」を「支持」と「援助」に分けて考える。まずは伴走者として「支持」を行い、解決が難しい時に「援助」を差し伸べる。「援助」が先にいかないようにしたい。



ここでいう目標とは？

折居
教育長

ハピネスの近くには自然豊かな四王寺県民の森がある。

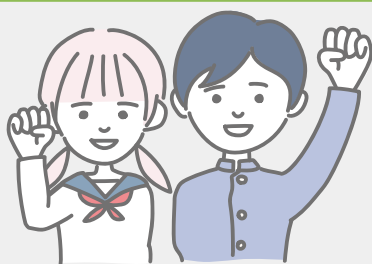
福岡県、宇美町ともに「ワンヘルス教育」を推進し、心と体、生物と環境の一体的健全性を理念としている。この環境を最大限活用して森を散策したり、動物とふれあうことで心と体の健康エネルギーを高めてほしい。



折居教育長



学校教育課HP



すべての子どもが学 「宇美町立学びの

宇美町の不登校対策

不登校児童生徒の状況

小学校	不登校の割合
令和4年度	2.8%
令和5年度	4.3%
中学校	不登校の割合
令和4年度	11.0%
令和5年度	11.9%

文部科学省が発表した令和4年度の全国の不登校児童生徒数は約30万人とされており、本町でも不登校者数は年々増加している。

本町では、平成12年度に「し〜ず・うみ」に不登校の児童生徒を対象とした適応指導教室「くすのき教室」を他町に先駆けて開設。中学校には校内教育支援センターが設置され、教育相談室やスクールソーシャルワーカーと連携した対応が行われている。

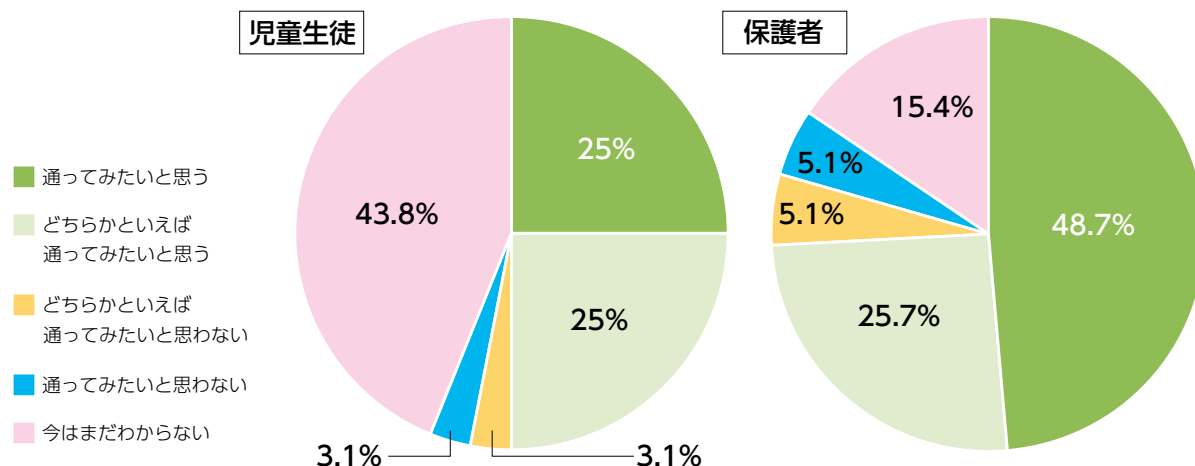
今回、「学びの多様化学校」の開校と同時に教育相談室もハピネスに移設される予定である。すでにハピネスに設置されている「こども家庭センター」と併せて充実した相談体制が築かれ、こども教育総合支援センターとしてのさらなる機能強化が図られる。

「学びの多様化学校」は児童生徒と保護者に新たな選択肢を提供することで、一人でも多くの児童生徒に教育機会を確保するものである。

多様な学びの場に関するアンケート

Q 学びの多様化学校に「通ってみたい」「通わせてみたい」と思いますか。

令和6年8月8日 現在



宇美町教育委員会では令和6年8月に多様な学びの場に関するアンケートを実施した。アンケートの結果、対象のうち半数の児童生徒が通ってみたい、4分の3の保護者が通わせてみたいと前向きな回答となっていて、学びの多様化学校へ高い関心を寄せていることがうかがえる。

取材を終えて

小中学校では福岡県初となる「宇美町立学びの多様化学校」の開校は、大きな注目を集めており、県外からの問い合わせもあっている。他町に先駆けたこの取組が、本町の児童生徒の教育機会の確保に大きく寄与するのではないかなと思う。学校教育が抱える最大の課題である不登校の解決に向かう大きな一歩となるのではないかな。教育長のリーダーシップに期待したい。

動画でご覧
いただけます。

9月定例会の概要



9月定例会は、9月9日から9月20日までの12日間の会期で開かれました。町長から令和5年度決算認定をはじめ専決処分の報告、人事、条例、補正予算など22議案が提出され、全てを原案どおり可決しました。

一般質問では6名の議員が8項目について質問を行いました。

契約締結

防災気象情報システム整備

老朽化した機器類を更新し、新しいウェブシステムの構築を行う。

防災カメラ設置箇所を10ヶ所から12ヶ所に増やし、防災カメラを高性能なものにすることで、これまで以上に情報提供や安全確保を図ることが可能となる。

8800万円
で契約

問

更新する防災カメラなどの機器類の点検・メンテナンスは。

答

更新後1年以内に品質上の機器類の不具合や故障が生じた場合は、無償で交換。その後は、緊急障害対応も含め、点検・メンテナンスの必要性を精査し、契約を行う。



農家 小林 弘俊さん

川が氾濫する危険性がある場所を安全に確認できることは非常にありがたいと思います。

カメラは防犯カメラにもなるため、犯罪抑止効果も期待しています。

条例改正

宇美駅前広場条例全部改正

町の公共交通の重要な拠点である宇美駅前のにぎわいづくりと創業支援のため、駅前広場でキッチンカーや物販などの事業活動が行えるようにする改正。事前申請をし、許可を受けた場合は、使用料を支払うことで駅前広場に出店することができるようになる。

問

使用料を町内事業者と町外事業者とで差を設けない理由は。

答

にぎやかな駅前づくりを行うためにも、まずは多くの出店者に利用してもらうため。



キッチンカー経営 田中 裕則さん

駅前の実証実験の際に創業したので、これから創業される人たちにも良い機会になると思います。町の中心地が活気づいていくように新商品も用意して出店したいです。

一般会計 補正予算

駅前広場イルミネーション事業

新規

駅前広場のイルミネーションをバージョンアップさせるための照明機材の購入費などを計上。今後も商工会と共働で継続的な町のにぎわいを創出し、中心市街地の活性化に繋げていく。

144万円

問

予算をかけて行うのであれば、実施期間を延長することはできないか。

答

現時点の実施期間は予定であり、期間については改めて検討する。

問

当初予算ではなく補正予算に組み込んだ理由は。

答

にぎわい創出のために、条例改正を行ってから予算組みを行ったため。

一般会計
補正予算

水泳授業民間委託事業

新規

333万円

児童の安全と泳力向上を目的に、屋内プールを保有する民間事業者に水泳指導を委託する。今年度は原田小学校をモデル校に選定し、試行実施の成果と課題を検証する。

問 授業の開始時期やあらまはしは。

答 10月から実施。委託先の民間事業者にもよるが、2、3時間の授業を2、3回で行う予定。子どもたちの体調に配慮し、年内に授業を終えたい。



児童の保護者
安河内 徹さん

天候や季節の影響を受けない屋内温水プールでの専門的な水泳指導により、子どもたちの泳力が向上されることは大変うれしく思っています。
新しい試みに良い結果が出ることを願っています。

一般会計
補正予算

児童手当関係経費

増額

1967万円

児童手当の制度改正により10月分から所得制限の撤廃、支給対象期間を中学生から高校生年代まで延長、第3子以降の手当額が3万円に増額される。支給対象児童数は5900人の見込み。



子育て中
松山 亜沙さん

子育てと仕事に追われる中、物価高騰も続き、家計への影響も大きかったので、第3子以降の子育て支援の幅が広がりがり心強く思っています。
今後、子育て世代が安心して育てられる環境づくりの輪が広がることを願っています。

一般会計
補正予算

オンデマンドバス運行事業

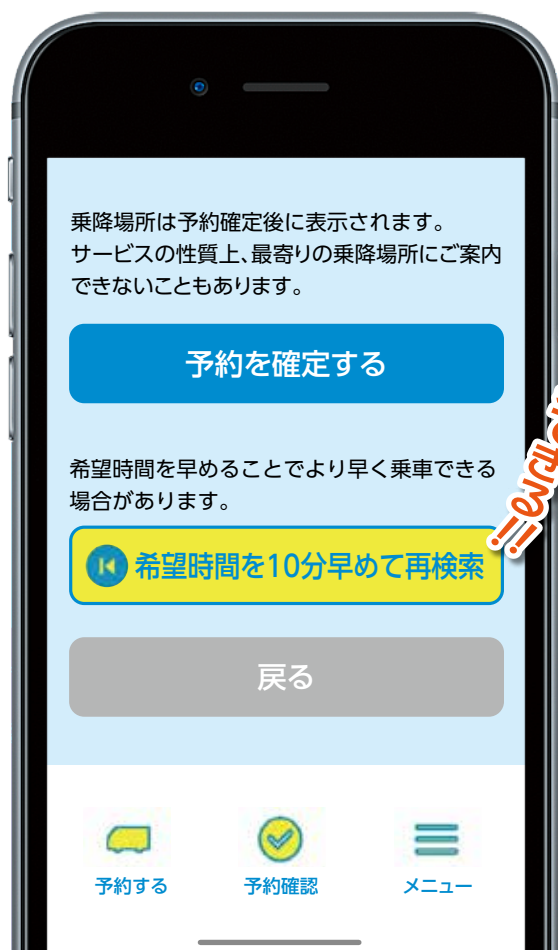
増額

33万円

「のーと宇美」のLINEでの予約機能に「10分前再検索ボタン」を追加することで利用者の利便性を図る。

問 この機能が追加されることにより、どのような課題の解決が期待されるのか。

答 乗車予約の半数はLINEで行われている。希望する時間が混雑し、予約できない場合に利用を諦める方が多く、「10分前再検索機能」を付けることで希望する時間の少し前の検索を容易にし、予約の離脱者を減少させ、利用者数を増やしたい。



後期高齢者医療 特別会計



丸山康夫議員

問 本町の後期高齢者1人当たりの医療費は県内一高いがその要因は

答 医療費分析を行っている最中であり、現状で新たな要因は把握できていないが介護給付費との関連を分析しているので今後、明確になる点も出てくると考える。

国民健康保険 特別会計



丸山康夫議員

問 物価高騰の中、保険税の値上げの見通しは

答 県が算定する国民健康保険事業費納付金の額が今年度と同様であれば、大幅な保険税改定を行うことはない。

上水道 特別会計



丸山康夫議員

問 自己水源の活用などで水道企業団からの受水量の見直しを行うべきでは

答 協定水量の見直しについて協議を進めている。少なくとも令和7年7月までに協議を終わらせたい。

流域関連公共下水道事業 特別会計



平野龍彦議員

問 施設の維持管理に重要なストックマネジメントを実践できる専門職員の確保は

答 専門職員を確保するのは非常に難しい。専門のコンサルタントと相談しながら私どもも勉強していく。

令和5年度
決算を審査

私たち議員はここに注目

9月定例会では決算審査特別委員会を設置し、前年度の予算の使い方が適正かつ効果的であったか、いかに今後の予算に反映させるかなどの審査を行いました。

ここでは主な質疑を要約してお知らせします。

二次元コードから動画をご覧になれます。



特別会計



一般会計



決算審査特別委員会 黒川 悟 委員長

決算の概要

※万円未満四捨五入

一般会計	歳入総額	150億8886万円
	歳出総額	144億9243万円
後期高齢者医療特別会計	歳入総額	5億5141万円
	歳出総額	5億2511万円
国民健康保険特別会計	歳入総額	40億3164万円
	歳出総額	39億6938万円
上水道事業会計	収益的収入	8億1732万円
	収益的支出	7億5231万円
	資本的収入	9131万円
	資本的支出	3億8788万円
流域関連公共下水道事業会計	収益的収入	9億3571万円
	収益的支出	8億4378万円
	資本的収入	5億7717万円
	資本的支出	9億2974万円

一般会計



鳴海圭矢議員

問 地域猫活動支援事業費の財源確保の展望は

答 令和6年度は企業版ふるさと納税で寄附を募っており、職員が営業マンとなって営業活動を行う。

一般会計



丸山康夫議員

問 企業版ふるさと納税寄附の増額に向けた事業展開は

答 これまで以上に企業へのアプローチやトップセールスに力を注ぎ、県外で開催される企業とのマッチング会などに参加するなど積極的にPRする。

一般会計



平野龍彦議員

問 金坪池の堤防の補強工事に関して地元説明会は行われたのか

答 利水者を対象に地元説明会を行い、仮設道路の地権者には個別に説明を行った。

一般会計



高橋紳章議員

問 地域コーディネーターを配置しているが、その活動実態は

答 小学校区コミュニティ運営協議会の会議に出席し、各種活動支援やアドバイスを行うなど協議会の運営に携わっている。

一般会計



小林孝昭議員

問 使用済みおむつの処理方法とCO2削減のためのリサイクルの考えは

答 使用済みおむつは現在燃えるごみとして処理。今後、他自治体を参考に検討する。

一般会計



高橋紳章議員

問 防犯灯のLED化は令和5年度が72.13%の実施率、令和6年度は100%の実施率となるのか

答 基本的には電灯が切れたところから順次LEDに交換している。令和6年度は80%程度の見込み。

一般会計



藤木泰議員

問 清掃雑入でのごみ処理料返還金の内容は

答 わかすぎRDF処理施設の委託料を支払っていたが、令和6年1月から5月まで国の支援により光熱費が軽減され、支払いの一部が返還された。

一般会計



丸山康夫議員

問 宇美～太宰府線のバス路線の乗客を増やすための取組は

答 西鉄バスとの協議の結果、令和6年10月1日から路線バスのJR宇美駅前広場への乗り入れが実現することになった。

審査した議案と各議員の賛否

○は賛成 ×は反対を表しています

議 案 名	議員名	小林孝昭	安川禎幸	高橋紳章	丸山康夫	平野龍彦	安川繁典	入江政行	黒川 悟	鳴海圭矢	白水英至	藤木 泰	審議結果	討 論
専決処分の報告 (和解及び損害賠償の額の確定)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
専決処分の報告 (和解及び損害賠償の額の確定)		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
債権放棄の報告		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
宇美町教育委員会教育長の任命		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意	
人権擁護委員候補者の推薦		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	適任 答申	
福岡県後期高齢者医療広域連合規約の一部変更に関する協議		○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	可決	
工事請負契約の締結 (令和6年度 宇美町防災気象情報システム整備工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町国民健康保険条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町ひとり親家庭等医療費の支給に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美町上水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例及び宇美町長等の損害賠償責任の一部免責に関する条例の一部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
昭和天皇の崩御に伴う職員の懲戒免除及び職員の賠償責任に基づく債務の免除に関する条例を廃止する条例		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
宇美駅前広場条例の全部改正		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町上水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和6年度 宇美町一般会計補正予算(第2号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
令和5年度 宇美町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
令和5年度 宇美町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
令和5年度 宇美町上水道事業会計利益の処分及び決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
令和5年度 宇美町流域関連公共下水道事業会計利益の処分及び決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
令和5年度 宇美町一般会計歳入歳出決算認定		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
令和5年度 宇美町健全化判断比率及び資金不足比率の報告		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—		
令和6年度 宇美町一般会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	

※古賀ひろ子議長に表決権はありません。



一般質問とは定例会で行われ、議員が町政全般について、町長などの執行機関の考え方や方針などを問いただすことです。

掲載内容は、質問者自身が要約し、広報委員会で校正しています。

白水 英至 議員 10P

◆空き家を負の遺産ではなく資源にしては

高橋 紳章 議員 11P

◆一本松公園の将来像は

黒川 悟 議員 12P

◆認知症の人に寄り添った地域社会の構築は

丸山 康夫 議員 13P

◆持続可能な農業の推進を

安川 禎幸 議員 14P

◆今後の宇美町の教育施策は

鳴海 圭矢 議員 15P

◆マイナ保険証以外で医療は受けられるか

一般質問

町政を問う6人が登壇



議会をもっと身近に ライブ配信と録画配信をご視聴ください

宇美町議会では、議場で行う本会議・特別委員会のライブ配信と録画配信を行っています。

ライブ配信は、議会の傍聴に来られない方のために生中継で配信しています。

録画配信は、議会のホームページから議案審査や一般質問の様子をいつでもご覧いただけます。字幕付きですので音声聞き取りにくい方でも分かりやすく、ご覧いただけます。

議会のライブ配信
録画配信はこちらから



私の視点「なぜここを質問したか」

自治会から人の気配や出入りがない家屋があり、不審者の侵入や台風・地震などでブロック塀や家屋が倒壊するのではと心配の声が上がっている。空き家対策の現状は。



しろすず えいじ
白水 英至 議員

空き家を負の遺産ではなく 資源にしては

答弁(町長) 住環境改善と資産利活用を促進する

録画配信は
こちらから▶



問 本町は空き家の状況をどのように把握しているのか。

答 環境課長

自治会などの協力により、地域の空き家情報を提供していた。また、上水道を一年間使用していない建物を調査している。

問 本町は、空き家・空き地などの環境保全条例を制定しているが、どのような取組をしているのか。

答 環境課長

空き家対策協議会においては町長を会長とし、18名の委員で構成し、審議を行っている。

空き地と空き家は、管理が行き届いていないため、雑草などが生い茂り放置されていると自治会から相談があった場合は、所有者に改善のお願いをしている。

問 空き家と所有者不明土地などは、人口減少などにより増加していると思うが、近年の推移と現状は。

答 環境課長

所有者不明の土地は把握できていない。空き家の認定は平成28年度から開始し、令和5年度末時点の認定軒数は295軒、前年度からは3軒増加で、ほぼ横ばいとなっている。

問 老朽化した危険な空き家の解体に対する補助金の考えは。

答 環境課長

空き家の所有者などが、自らの責任により対応することが大前提であり、現状では解体補助金は考えていないが、助成金や補助金を交付している他自治体の要件や効果などの情報収集に努める。

問 人口増を目的とした移住・定住促進のための本町の空き家対策をどのように考えているのか。

答 町長

住環境の改善と資産の利活用の促進や、定住者の呼び込みによる人口増加や経済の活性化により本町の発展につなげていきたいと思っている。



深刻化する空き家問題

質問を終えて



周辺地域に影響するようなトラブルを引き起こす可能性がある空き家を負の遺産にしない取組を期待する。



私の視点「なぜここを質問したか」

一本松公園はスケートボード場もでき、昨今のキャンプブームにより利用者のさらなる集客が見込める。今後それらの施設を維持管理し、将来に向けてどのように展開していくのか。

一本松公園の将来像は

たかはし のぶあき
高橋 紳章 議員



録画配信は
こちらから▶

答弁(町長) 環境整備を行うため継続調査する

問 一本松公園の現在の利用状況は。

答 環境課長

一本松公園には広いスペースや水遊び場もあり、デイキャンプや宿泊キャンプで多くの方が憩いの場として利用している。

問 バンガローの使用状況は。

答 環境課長

現在バンガローは老朽化が進み、安全面を考慮して令和2年度以降は貸出しをしていない。

問 トイレにクモの巣が多いが、管理状況は。

答 環境課長

管理は、業務委託により行っている。職員が巡回した際も、クモの巣はできる範囲で除去している。

今後は除去・防止方法を検討して快適なトイレ環境づくりを目指す。

問 公園施設使用料を活用して、施設等を改善する考えは。

答 環境課長

まずは公園整備基本計画を策定し、将来整備する際に、新たな施設使用料の設定を検討すべきと考える。

問 猫石キャンプ場をキッズパークにする考えを昨年9月定例会で質問したが、その後の展開は。

答 都市整備課長

新たな公園整備は国庫補助の対象とならない。

一本松公園に限らず町全体の計画策定を行うため、国の補助制度や民間の活用などを検討している。

問 一本松公園を町民憩いの場として整備するため、アイデアの公募や町民参加の委員会などを立ち上げる考えは。

答 都市整備課長

一本松公園の整備事業を実行するとすれば、有識者や町民を構成員とした懇談会などを設置する予定。



現在使用されていないバンガロー

質問を終えて



一本松公園が新しい形で町民の誰もが楽しく集えるような公園となることを期待する。

問 一本松公園の将来像について町長の考えは。

答 町長

親子が安心して遊べる環境を整えるため、引き続き調査・研究を重ねる。

私の視点「なぜここを質問したか」

高齢化が進み、認知症の人も家族も、安全に安心して暮らせる共生社会の構築が求められている。本町の認知症対策の現状は。



くろかわ さとろ
黒川 悟 議員

録画配信は
こちらから ▶



認知症の人に寄り添った 地域社会の構築は

答弁(町長) 認知症の知識・理解が深まるよう周知啓発に取り組む

問 認知症に関する知識と理解を深めることが重要だと思いが本町の取組は。

答 健康課長

第10期宇美町高齢者福祉計画の基本目標「いつまでも健康でいきいきと暮らせるまちづくり」の施策で、認知症に対する取組の充実を掲げ、小学校区介護予防教室、自治会いきいきサロン、中高生などを対象に認知症サポーター養成講座を実施している。

今年度はきららデイサービスセンターと宇美商業高校との共働事業で認知症啓発イベントを開催する予定。

問 認知症の人の尊厳ある暮らしを守る技法である「ユマニチュード」の普及を積極的に取り組むべきと考えるが。

答 健康課長

本町は地域包括支援センターが中心となり、認知症や疑いがある方の相談体制を強化している。

また、社会福祉協議会と連携

し、専門的知識を有する地域支援推進委員の配置、認知症初期集中支援チームを設置し、支援体制を構築している。

そのほか、介護施設職員に対して研修会を年に1、2回実施している。

今後もユマニチュードに限らず、認知症ケアの質の向上に向けた取組を行っていく。

問 認知症の行方不明者の生命を守る取組を推進すべきと考えるが。

答 健康課長

『福岡都市圏認知症高齢者捜してメール』の利用促進を図っている。

高齢化に伴い、認知症の方は年々増加し、行動範囲も広範囲に及ぶなど、行方不明者対策を強化する必要がある。

今後の対策として、GPSを利用した位置情報検索アプリの導入、二次元コードを利用した見守りシールの配布など、認知症の方に適した対策を検討したい。



質問を終えて

認知症の人に寄り添った共生社会の実現に向けた町の認知症対策の推進に期待する。



※ユマニチュード
人間らしさと優しさに基づいた認知症ケア



私の視点「なぜここを質問したか」

本町では、有害鳥獣による農作物被害や、農業者の高齢化による担い手不足が深刻化している。農業者が将来に希望が持てる政策の実現を目指したい。

持続可能な農業の推進を

まるやま やす お
丸山 康夫 議員



録画配信は
こちらから▶

答弁(町長) 国の補助金等の活用を進めたい

問 過去10年間の本町の農業従事者と農地面積の推移は。

答 都市整備課長

農家件数は、95戸から74戸と22%減少。
耕作できる農地面積は74haから56haと24%減少している。

この内14haが農作物を耕作していない自己保全管理地となっている。

問 宇美町食育・地産地消推進計画の推進管理の現状は。

答 都市整備課長

コロナ禍の影響で地産地消推進計画の事業や会議の大半が見送られた。現在、年末に会議を開くための調整を行っている。

問 有害鳥獣の捕獲頭数と1頭当たりの報酬は。

答 都市整備課長

令和5年度は、イノシシ68頭、アライグマ1頭、シカ4頭を捕獲した。

報酬は、大型のイノシシやシカは1頭当たり7000円、ウリボウやアライグマは1頭当たり

1000円支払っている。

問 報酬があまりにも少なすぎるが、報酬を増やすことはできないのか。

答 副町長

今後、林野庁の有害鳥獣捕獲等事業積算マニュアルを参考に地域の実情に合わせていく必要があると考えている。

問 小型の有害鳥獣は殺処分後に埋却しており、大きな負担となっているが、行政のサポートはできないか。

答 都市整備課長

小型の鳥獣に関しては、道路でひかれた猫の死骸同様、委託業者の引き取りは可能であると考えている。

問 学校給食に本町で生産された農作物を使用することはできないか。

答 教育長

給食食材は、量・価格の安定供給が必要。地産地消の食に関する指導は積極的に行うべきだと考える。

ている。

問 防災機能としても有効な農地を今後どう残していこうと考えているのか。

答 町長

認定農業者制度や農業用機械の購入を補助する農業振興推進事業補助金の活用を進めていきたい。

質問を終えて



有害鳥獣捕獲に対する報奨金の増額や、処分に対する町のサポートに対して前向きな回答が引き出せ、農業者の力になると思われる。



全国で激増しているイノシシ

私の視点「なぜここを質問したか」

4月に新たに折居教育長が就任され「学びの多様化学校」をはじめ次々に新しい施策を打ち出されている。教育長に今後の宇美町の教育施策をお尋ねしたい。



やすかわ よしゆき
安川 禎幸 議員

録画配信は
こちらから ▶



今後の宇美町の 教育施策は

答弁(教育長) 未来のまちづくりに貢献できる教育施策を進めたい

問 学びの多様化学校開設に至った経緯は。

答 教育長

令和6年6月末現在、約50名の児童生徒がほぼ全欠状態で学びにアクセスできていない。この現状を考え一日も早く学びの多様化学校を設置したいと考えた。

問 宇美町立学びの多様化学校とは。

答 教育長

学校での学びにアクセスできない児童生徒を減らしていきたい。それにより全ての児童生徒の進路実現と社会的自立を果たすことが目的。

また、学校教育の価値観を、学校が児童生徒に合わせ応えることに転換することも目指している。

出席日数の取扱いは小中学校と同様で、通学にオンデマンドバスの利用も想定している。

問 原田小、宇美南中の小中一貫校の検討状況は。

答 教育長

令和6年から8年まで両校で小中一貫教育の研究を行う。

先進地である宗像市を参考にしながら宇美町にあった一貫教育を模索していく。

宇美町立学びの多様化学校は、原田小、宇美南中の小中一貫分校として、モデルを提示できるようにしていきたい。

◆学びの多様化学校とは◆

学校教育法に基づき教育課程の基準によらず特別の教育課程を編成して教育を実施することができる文部科学省が指定した学校。従来は不登校特例校と呼ばれていた。

学びの多様化学校では、不登校児童生徒に配慮した特別の教育課程を編成・実施する。

問 第7次総合計画の基本目標「みんなで「子どもの育ち」を応援し、生涯にわたって「学び」を楽しむ『笑顔』をうみだすまち」の将来像は。

答 教育長

子どもも大人も展望や希望、夢や志を持って笑顔で自己実現を図っている、将来像はここにあると考える。

「教育立町宇美」の信念で、宇美町に住み続けたい、住みたい、戻ってきたいと思っただけの未来のまちづくりに貢献できる教育施策を進めていきたい。

質問を終えて



学びの多様化学校の開設は、スピード感を持って大きなチャレンジを行ったと強く感じる。事業の進捗を注視するとともに今後も積極的な取組に期待する。



私の視点「なぜここを質問したか」

本年12月2日以降、現行の国民健康保険証は新規発行されなくなり、手元にある保険証は令和7年7月31日までで使えなくなるが、本町の国民健康保険はどう変わっていくのか。

マイナ保険証以外で医療は受けられるか

なるみ けいや
鳴海 圭矢 議員

録画配信は
こちらから ▶



答弁(町長) マイナ保険証か資格確認書で受診できる

問 災害時にマイナ保険証を保有していない場合や大規模な停電などでカードリーダーが使えない場合に医療は受けられるのか。

答 住民課長
本人が利用登録したか不明な場合は、窓口でも確認できないので、資格確認書を交付して対応することになると予想されている。

問 転入者の国保加入手続きの際に、マイナンバーカードを保有している人には健康保険証として利用登録したか確認すると思うが、利用登録をしたか不明な場合の対応は。

答 住民課長
マイナ保険証を持たない方については資格確認書を発行するのでそれで受診できる。

問 マイナ保険証を持っていない人には資格確認書が送られてくると聞いているが、資格確認書を出せば、今までのように医療が受けられるということと間違いないか。

答 住民課長

大規模災害等の際には医療機関の窓口で住所、氏名、生年月日、加入している医療保険者、勤務先などを口頭で申告すれば保険診療を受けることができる。

また、停電などの事情でその場で資格確認が行えない場合は、マイナポータルの資格確認情報画面や過去の受診歴などの確認、被保険者資格申立書の提出で必要な保険診療が受けられる。

問 滞納者への被保険証の交付がされなくなると聞いているが、滞納者の受診はどうなるのか。

答 住民課長

滞納があるという理由で医療機関を受診できないということはない。

ただし、滞納者の受診についてはこれまでの資格証明書の制度に代わって、医療費の全額を支払い、後日本人負担との差額分を滞納税に充当する制度になる。

問 マイナ保険証の利用登録後

の変更は可能か。資格確認書を選択したい場合、登録解除は可能か。また、その手続きは。

答 住民課長

マイナ保険証の利用登録を解除することは可能。令和6年10月から、窓口または郵送での申請受付が始まる予定。

なお、利用登録解除を申請された方には、本人の申請によらず資格確認書が交付される。

政府広報 厚生労働省



詳しい情報はこちらから検索

政府広報 マイナ保険証



質問を終えて



マイナ保険証を作るかどうかはあくまでも本人の任意である。受診には資格確認書があれば大丈夫であることを伝えたい。

宇美志免リサイクルセンター・宇美志免浄化センターを視察

8月7日(水)に宇美志免リサイクルセンター「エコル」と最終処分場、老朽化が進んでいる宇美志免浄化センターの稼働状況を視察しました。

本町の廃棄物がどのように処理されているのかを知り、今後の広域連携に向けてどう再構築すべきなのかを模索するうえで、重要な視察研修となりました。



リサイクルセンターエコルのストックヤード



人の手による仕分け作業



最終処分場の水処理施設で綺麗にした水を放流



宇美志免浄化センター(し尿や浄化槽汚泥を浄化している処理施設)の視察



議会からひと言

リサイクルセンターエコルでは、学校や自治会などのグループでの見学ができます。

資源ごみを分別する大切さを知り、みんなでごみの減量化に取り組んでいきましょう。

議会広報常任委員会

愛知県阿久比町議会だより編集特別委員会の視察受け入れ

10月31日(木)に愛知県阿久比町の議会だより編集特別委員会の視察研修を受け入れました。

阿久比町からは令和元年度以来2度目の受け入れとなり、私たち宇美町議会広報常任委員会としても、成長の軌跡をお示しすることができたと思います。

今後も全国から視察に来ていただける「うみ議会だより」を目指し、研鑽を深めてまいります。



クリーンパークわかすぎ・酒水園を視察

10月8日(火)に篠栗町にあるごみ燃料化(RDF)処理施設「クリーンパークわかすぎ」と粕屋町にあるし尿処理施設「酒水園」を視察しました。

クリーンパークわかすぎは、令和9年度でRDF処理施設を閉鎖し、最新式の回転ストーカ式焼却炉の新しいごみ焼却施設の整備に着手しています。

し尿処理施設の酒水園も、昭和57年に開設され老朽化が進んでおり、今後の維持管理が課題となっています。



クリーンパークわかすぎの集中管理室



新たな焼却炉の建設予定地



燃えるごみに金属片が混入し破砕機故障の原因に



酒水園ではし尿や浄化槽汚泥を浄化し下水道に放流



議会からひと言

RDFの整形過程では、家庭ごみを破砕する際に金属が紛れていると、機械故障の原因になり、莫大な修繕費用がかかります。維持管理費の軽減のためにも、ごみの適切な分類がいかに大切なのかを周知徹底する必要があります。

おごおり防災士会を視察

10月3日(木)に総務建設常任委員会と地域コミュニティ課職員4名で、おごおり防災士会を視察しました。

おごおり防災士会は、日本防災士機構の「防災士」の資格を有する者で構成するボランティア団体(平成28年9月設立、会員数33名)として活動されています。

小郡市では自治会(62自治会)に「自主防災組織」が設置されており、この自主防災組織と8小学校区の協働のまちづくり協議会の校区防災部会が連携・協力しながら地域の防災活動に取り組まれています。

視察では防災部会・自主防災組織の防災訓練、防災リーダー養成講座などの活動状況やおごおり防災セミナーの紹介、行政機関やボランティア情報センターとの連携など防災・減災の取組について説明を受け、意見交換を行いました。

◆おごおり防災士会の特徴

(1) 中間支援としての役割

行政でもなく自治会(自主防災組織)やまちづくり協議会(校区防災部会)でもない立場で、行政と地域をつなぐ役割を果たしている。

(2) 行政との連携(課題と対策の共有化)

市の地域防災計画における地域の自主防災に関する取組方針や、それぞれの自主防災組織の課題と対策について、常に行政と共有化している。

(3) 地域の災害特性の把握

小郡市内を活動拠点とすることで、市内の地震や水害などの災害特性が把握できており、それぞれの地域の災害リスクに対応した活動が可能。



委員会より

この研修で、防災士会の設置の大切さを学びました。また、11月に総務建設常任委員会で自主防災組織の取組の先進地である松山市の視察を計画しています。そこでさらに調査研究を深め、本町でも防災士会の立ち上げや自主防災組織の100%設置を目指し努力していきます。

子育て応援事業の拡充

社会の基盤を維持していくうえで少子化対策は今や全国で喫緊の課題となっています。町では「子育てするなら宇美町で」を合言葉にさまざまな形で子育てを応援する事業の拡充が行われており、その具体的な内容をお知らせします。



物価高騰でも安心でおいしい給食を 保育所等給食支援費補助事業（令和6年度新規事業）

物価高騰対策として保育所等の給食に係る
材料費高騰分を助成する

補助対象施設／私立保育所等
補助対象期間／令和6年4月から
令和7年3月まで

負担割合／県2分の1、町2分の1

対象経費／補助金交付見込額
734万2800円

県補助金見込額 367万1000円



タクシー利用時などに利用できる 妊産婦応援事業（うみパック）

詳しくは
こちら



妊娠・出産・産後の母親の心身の回復や
育児不安の軽減を目的に、

1人当たり合計4万円を上限として
経済的支援を行う。

ただし、ふたごなどの場合は
2人目以降のこども1人につき
5000円を加算。

妊産婦タクシー利用料助成事業
妊産婦ヘルパー(家事)派遣費助成事業
妊産婦ヘルパー(育児)派遣費助成事業
産前産後サポート相談事業(保健師、栄養士、保育士)
産後ケア利用料助成事業(訪問)乳房ケア
産後ケア利用料助成事業(訪問)沐浴
産後ケア利用料助成事業(日帰り)
産後ケア利用料助成事業(宿泊)
ファミリー・サポート・センター支援活動報酬助成事業

利用者の

声



産婦人科からの紹介で、町に問い合わせたら
すぐに説明に来てくれて、とても助かりました。

委員会より

子育てといえば、とにかく出費のかさむものですが、現在は特に物価高騰が追い打ちをかけている状況です。今後も安心して子育てできるように、さらなる制度拡充を目指していきます。

表紙にも掲載
しています議会広報
インタビューシリーズ

第14弾

子どもたちの
笑顔とそれを支える方々に
スポットを当てて
いきます

スポーツ少年団が楽しく防災体験会

9月8日(日)住民福祉センター体育館で「楽しく防災を学ぼう」をテーマにスポーツ少年団が行った防災体験会を取材しました。

スポーツ少年団では、災害が発生し、避難した際に「自分に何ができるかを考えて行動できるリーダーの育成」に力を入れており、参加した子どもたちは時に笑顔で、時に真剣な表情で避難所設営訓練などに取り組んでいました。

みんなで取り組みれば早くできるね

地域コミュニティ課職員の指導でパーティションや段ボールベッドの組み立てを体験。「一度体験したらみんなに教えられるね」とてきぱきと行動していました。



ハザードマップで避難所を確認

ハザードマップで自宅と避難所の位置、危険な場所や安全な避難経路を確認。「家から避難所までにこんな危険な場所があるんだ」と驚いていました。



非常食はどんな味がするのか楽しみ

副本部長の福山栄二さん(写真中)は「低学年に防災体験会は難しいかと思ったが、非常食やハザードマップにも関心を持ってくれたので、来年度の事業にも防災体験会を取り入れていきたい」と思いを語られました。



家族で力を合わせて乗り切れそう

災害が発生した際に避難所に行くと思いが、パーティションの中は過ごしやすそうで「これなら家族で力を合わせれば乗り切れそう」と話していました。



議会からのひと言

今年1月に発生した能登半島地震では、自分の命は自分で守る「自助」と、地域で協力して助け合う「共助」の防災活動により、住民が助かった事例がいくつもあります。

「自助」・「共助」の力を高めるためには、地域の防災リーダーの育成が必要不可欠であり、小中学生のころから楽しく防災について学び・体験することがリーダー育成の一番の近道だと実感しました。

今後も防災リーダーとなる防災士の育成や防災教育の充実のための提言を続けていきます。

議会傍聴メーター

Gikaiboutyou
Meter2022年3月議会からの傍聴者 累計▶
9月定例会は10人が傍聴に来られました

204

【発行責任者】

議長 古賀 ひろ子

【議会広報常任委員会】

委員長 丸山 康夫	委員 高橋 紳章
副委員長 鳴海 圭矢	委員 安川 禎幸
委員 安川 繁典	委員 小林 孝昭

議会からのお知らせ

議会は年4回(3月・6月・9月・12月)
定例会が開かれます。

議会ホームページからは本会議の生中継が
ご覧いただけます。

傍聴する場合は、役場3階の傍聴席入り口で
住所・氏名をご記入ください。

次回の議会は12月9日に開会予定です。